

日刊自動車新聞

スズキ

フロンクス

TAKE FREE プレビュー
特集号

発行所日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

スタイリッシュ コンパクトSUVがまもなく登場!! スズキ新型FRONX プレビュー フロンクス 特集号



1.5ℓマイルドハイブリッド+
6AT搭載。クラスを超えた
上質な走りが魅力



テストコースで試乗!



新型フロンクス
専用サイト

新型フロンクスの
動画はコチラ



『日刊自動車新聞
公式チャンネル』
内「NJD新車
Movie」

クラストップ※1の小回り性
最小回転半径4.8m!



グローバルカーとして2023年からインドや中南米などで販売され、高い評価を得ているコンパクトSUV「フロンクス」が、満を持して日本市場にも投入される。スタイリッシュで都会的なデザインの中に、SUVらしいタフなスパイスを盛り込んだ個性的なスタイルは、日常からアウトドアレジャーまで、多彩なシーンでの活躍を予感させる。普段は道幅や駐車場が狭い都市部で通勤や日常使いに、休日には家族や友人とレジャーやロングドライブを快適に楽しみたいユーザーにピッタリな走行性能や使い勝手、居住性などを備えている。車体の根幹となるプラットフォームは、すでにインドで好評のコンパクトモデル「バレーノ」(日本未発売)をベースにするだけに、“走りの良さ”にもこだわり開発されている。日本で求められる先進の安全運転支援機能は充実しており、安心感とともに運転する楽しさが感じられる新たなコンパクトSUVに仕上がっている。

※1 国内コンパクトSUVクラスと「フロンクス」プロトタイプとの比較。スズキ調べ
※2 写真はすべてプロトタイプ



エクステリア

フェンダーアーチは素材色で仕上げ、ボディ下部にはシルバー塗装のガーニッシュを装着してSUVテイストを高めた



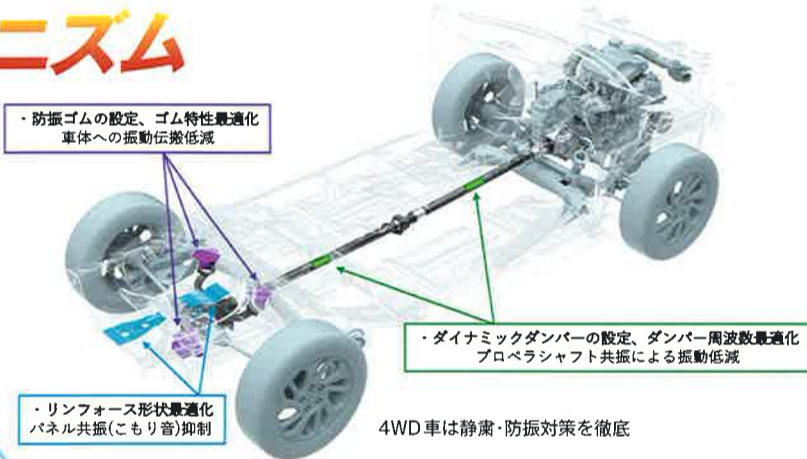
全長×全幅×全高3995×1765×1550mm。ほとんどの機械式駐車場に収まる

世界戦略車として「スタイリング」

2023年のデリーモーターショーで発表され、注目を集めたフロンクスが目指したのは、多くのクルマが行き交う街中でも埋もれず、ハッと目を引く個性や存在感を主張するデザインだ。流麗なルーラインとベルトラインを持つ「クーペスタイル」と、ダイナミックな造形の前後フェンダーや堅牢な意匠のホイールなどによる「SUVらしい力感」を組み合わせた。ブロックのような3灯式の特徴的なヘッドライトや上段のウインカー類は先進的で、テールライトもきめ細やかなデザインで上質感を演出する。陰影の緩急が効いた立体感あふれるフォルムをはじめ、どこから見ても印象的なエクステリアとなっている。



メカニズム



防振ゴムの設定、ゴム特性最適化
車体への振動伝達低減

ダイナミックダンパーの設定、ダンパー周波数最適化
プロペラシャフト共振による振動低減

リンフォース形状最適化
パネル共振(こもり音)抑制

4WD車は静粛・防振対策を徹底

フロンクスの全高は1550mmとSUVとしては低重心で、コンパクトクラスの中ではワイドなトレッドとロングホイールベース(2520mm)が特徴だ。パワートレインは、1.5ℓ直列4気筒ガソリン自然吸気エンジン+マイルドハイブリッドに6速ATを組み合わせ、駆動方式は2WD(FF)と4WDを用意する。タイヤ、コイルスプリング、ダンパー、電動パワーステアリングなどは、日本の路面に合わせたチューニングを施している。また、ボディ骨格内には複数の遮音壁を設け、ダッシュパネルやリアドアガラスの板厚も静粛性向上やロードノイズ低減に注力。タイヤは16インチを採用し、レイアウトや車体周辺部品との調整によって切れ角を大きく確保した結果、最小回転半径はクラストップレベルの4.8mに収まっている。4WDモデルに関しては、ダイナミックダンパーの設定やダンパー周波数の最適化、防振ゴムの装着などを施し、リアの駆動系からの振動入力を軽減。FFと遜色ない静粛性や乗り心地を実現したという。



動力用のリチウムイオン電池は
助手席下に搭載



1.5ℓ直4自然吸気エンジン+
マイルドハイブリッド



前方視界は良好で車両感覚を認識しやすい。
静粛性や質感はクラストップレベル

インテリア



後席シートバックは6対4分割倒式



ACCは全車速対応型でLKAも搭載

安心感を高め、さらに快適なドライブが楽しめるよう、フロンクスは日本のユーザーが求める最新の予防安全・運転支援技術を装備している。「デュアルセンサーブレーキサポートII」は、ミリ波レーダー+単眼カメラ+超音波センサーにより、周囲の車両や歩行者、自転車、オートバイなどを検知し、安全運転をサポートしてくれる。アダプティブクルーズコントロール(ACC)は全車速域対応で、停止保持や車線維持支援機能(LKA)も備わる。これらは渋滞時でも使用できるためロングドライブも快適だ。またACCとLKAの制御をより自然にして、ドライバーの違和感を軽減している。

安全・運転支援装備

ヘッドアップディスプレイ

スズキ新型

フロンクス **ココがすごい!**

- 納得① 「流麗」と「タフ」が融合したクーペスタイル
- 納得② 細やかな対策で実現した高い静粛性と快適性
- 納得③ 運転の楽しさと安心感を両立した気持ち良い走り



異なるサイズ

「ワールドワイド」に展開 「快適性」「取り回し性」の両立を目指して開発



SUVの力強さと流麗なクーペスタイルが融合。
写真のボディカラーはルーセントオレンジパールメタリック ブラック2トーンルーフ



大人4人が快適に移動できる室内空間を実現



ミッションは6速MT



電動パーキングブレーキと前席シートヒーターを装備



ワイヤレス充電器



スポーツモードのスイッチ

インテリアデザインは、力強さとたくましさの中にも、上質で洗練された雰囲気を感じさせる。インパネは左右からセンターにかけてダイナミックに切り込むような、高輝度シルバー塗装による金属調のフレームが特徴。芯の通った厚みのある造形の中に躍動感を加味しつつ、パールブラック塗装のサイドルーバーやドアパネルの加飾と合わせ、大人のスポーティー感を表現している。内装色は日本専用となるブラック×ボルドーの2トーンを採用し、落ち着いた高級感を演出。シート地はレザー調とファブリックのコンビネーションとして、ホールド性、サポート性、フィット感などにこだわったほか、ショルダー部をボルドー色で仕立てている。

カラーラインアップ

2トーン



スプラディッドシルバーパールメタリック ブラック2トーンルーフ



アスンブラウンパールメタリック ブラック2トーンルーフ



オブュレントレッドパールメタリック ブラック2トーンルーフ



ルーセントオレンジパールメタリック ブラック2トーンルーフ



アークティックホワイトパールメタリック ブラック2トーンルーフ

モノトーン



セレスティアルブルーパールメタリック



ブルーイチシュブラックパール4メタリック

カラーバリエーションは、フロンクスの洗練されたスタイリングを際立たせるブラックの2トーンルーフが5色、シックで艶やかなモノトーンが2色の計7色。「アスンブラウンパールメタリック」「スプラディッドシルバーパールメタリック」といったアースカラーやニュアンスカラー(中間色)もそろえてトレンドをマークしつつ、「ルーセントオレンジパールメタリック」のようなビビッドなカラーも用意する。

日本仕様を いち早くチェック!

試乗インプレッション

ちょうど良い座面高で乗り降りしやすい運転席に座ると、コンパクトクラスとは思えない上質感に包まれる。さらに、広い視界による心地良さと車両感覚のつかみやすさも印象的だ。まずFFモデルから走らせると、キビキビとした俊敏な操縦性の中にも落ち着いた重厚感が感じられる。思い通りにコントロールできる素直さと、エモーショナルで抑揚のある加減速が楽しい。直線での伸びやかな加速感に加え、カーブでのしなやかな挙動は、フロンクスの低重心感を最も味わえるところ。大きめのキャブを通過した際の衝撃を一度でいなし、骨太で上質な走り味が実感できた。

4WDに乗り換えるとさらに四輪の接地感が高まり、骨太感や重厚感もアップする。静粛性はFF、4WDともに高く、エンジン音や風切り音などの不快なノイズはしっかり抑えられていて、試乗中に降ってきた雨音の方が大きく感じられたほどだ。後席でも試乗できたが、クラストップレベルの広さのためゆったり座れ、カーブでの横揺れは少なく安定感があり、快適に過ごすことができた。SPORTモードやSNOWモード(4WD)といった走行モードも選べるので、シーンに応じた楽しさや安心感が得られるはずだ。



足回りは日本の道路事情を考慮してチューニング。FFの走りは軽快、4WDは安定性の高さが光る



6速AT搭載で加減速はスムーズ



低重心レイアウトによる爽快な走りを体感

開発者の声

フロンクス(プロトタイプ)主要諸元表

駆動方式	2WD/4WD
変速機形式	6AT
全長×全幅×全高(mm)	3,995×1,765×1,550
ホイールベース(mm)	2,520
車両重量(kg)	1,070[1,130]
最小回転半径(m)	4.8
乗車定員(名)	5
エンジン種類	直列4気筒1.46ℓ DOHC16バルブ
最高出力(kW <PS>)/最大トルク(N・m <kgf・m>)	74(101)/135(13.8) [73(99)/134(13.7)]
モーター種類	直流同期電動機
最高出力(kW <PS>)/最大トルク(N・m <kgf・m>)	2.3(3.1)/60(6.1)
動力用主電池	リチウムイオン
使用燃料/燃料タンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン/37
サスペンション(前/後)	マクファーソンストラット式/トーションビーム式
タイヤ	195/60R16

注:すべて参考値。【 】は4WDの数値です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

Engineer's Voice

スズキ 商品企画本部 四輪B・C商品統括部
もりた ゆうじ
チーフエンジニア 森田 祐司 さん

街中で埋没しない個性と存在感を放つスタイリングはもちろん、運転する楽しさを求める方にも満足していただけるSUVを目指しました。後席はスペースを広く取り、長時間でも快適に乗っていただけよう、サポート性や座面のクッションを見直しました。これにより運転席と助手席だけでなく、後席に座る家族の笑顔も見られるクルマになったと思います。開発チーム全員が「自分も乗りたい」と思えるクルマづくりにこだわり、すべてにおいてお客さまの気持ちに寄り添ってつくったクルマがフロンクスです。ぜひご試乗いただき、家族に迎えていただけますようお願いしております。



スズキ新型 フロンクス

